

事業番号	事務事業名	資源回収推進団体等報奨金事業	所管課名	くらし安全課	令和 2 年度課長名	小原 克則
02461	政策名	4	係名	環境係	担当者・シート作成者	根本 瑞樹
	施策名	44	根拠法令等	鏡野町資源ごみ集団回収推進団体奨励金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野町資源ごみ集団回収推進団体奨励金交付要綱に基づき、登録された団体が回収した奨励金対象品目の回収量に応じて町が奨励金を交付する。団体の登録、奨励金の交付事務を行う。	ごみの分別及び再資源化を推進し、家庭から排出されるごみの減量化を図るため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町民	ア 人口	人	見込 実績	12,435 12,926	12,285 12,754	12,143 12,625	11,970	11,800
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア ごみの減量化意識高揚	ア ゴミ減量化・リサイクルに取り組んでいる町民の割合	%	目標 実績 達成率	82.0 73.3 89.4%	83.0 72.9 87.8%	84.0 79.4 94.5%	74.0	75.0
イ ごみの排出量の軽減	イ 集団回収・店頭回収を活用している割合	%	目標 実績 達成率	- - -	- - -	75 78 104.1%	80	80
ウ	ウ 津山圏域クリーンセンターへのごみ搬入量(可燃、ビン、缶、ペットボトル、古紙の委託及び個人、許可(個人))	t	目標 実績 達成率	1,900 1,910 99.5%	1,900 1,957 97.1%	1,900 1,983 95.8%	1,900	1,900

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 奨励金交付事務	ア 登録団体	団体	目標 実績 達成率	40 39 97.5%	40 40 100.0%	41 41 100.0%	42	42
イ	イ 資源回収ゴミの量	t	目標 実績 達成率	330 253 76.7%	340 246 72.4%	300 209 69.7%	300	300
ウ	ウ 奨励対象品目の奨励額	千円	目標 実績 達成率	1,400 1,140 81.4%	1,500 1,114 74.3%	1,200 947 78.9%	1,109	1,109

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 02		目 01		大 01		中 02		事業名		事業番号
	一般会計		衛生費		清掃費		清掃総務費		02		02		資源回収推進団体等報奨金事業		
予算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比	決算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財	1,442	1,528	1,200	1,109	1,109	-328	その他特財	1,140	1,193	947	1,109	1,109	-246		
一般財源							一般財源								
合計	1,442	1,528	1,200	1,109	1,109	-328	合計(A)	1,140	1,193	947	1,109	1,109	-246		

財源名称	清掃費雑入 ゴミ袋代	従事正職員人数	1	1	1	1	1			
		延べ業務事務時間	32	30	30	30	30			
		人件費計(千円)(B)	108	105	100	101	101			
	最終予算額	1,200 千円	予算執行率	78.9%	トータルコスト(A+B)	1,248	1,298	1,047	1,210	1,210

主な支出事業内容(予算)	補助金	1,200 千円	主な支出事業内容(決算)	補助金	947 千円

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成28年度をピークに回収量及び奨励金額ともに減少し、団体の活動も鈍化しているものの、継続している団体においては、地域に根付いた活動となってきている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
特になし。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
地域コミュニティの醸成及び活動資金源にもなることから、継続を望む声がある。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	3Rの推進において、有効な手段となっている。また、循環型社会の形成に寄与している。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	ごみの処理は行政の責務で、廃棄物の減量化の推進において、当事業はその有効な手段となっている。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	住民主体のコミュニティ区域ごとの団体構成となっており、妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	回収量の増加を図るため、啓発や奨励金単価の見直しが必要と考える。資源集積場所が、一般家庭ごみ収集箇所と混同する箇所もあり、場所の確保等の問題を整理していく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	3R推進の減退につながる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	助成単価の見直し及び一般家庭ごみ収集場所との差別化。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	現状では削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方を見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	職員が1名で行っている。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	集団回収団体は、全町民が対象であり、公平公正である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	概ね良好に推移している。																						
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			④ 担当課としての事業の方針																					
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 団体新設(組織率の向上)により、3Rの推進(ゴミの減量化)を図るため、積極的な啓発と、助成額の単価の上乗せを検討する。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題			(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																					
特になし。																								